

リサイクル計画書（概略設計・予備設計）

業務成果として設計業務の受注者が作成し、報告書に添付する。

1. 事業（工事）概要

発注機関名		事業（工事）名	
事業（工事）施工場所		事業（工事）着手予定時期	
事業（工事）概要等			

2. 建設資材利用計画

建設資材	使用の有無	再生材の利用について	備考
砕石	有・無		
アスファルト混合物	有・無		

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	発生の有無	現場内での再利用について	他工事での流用について	再資源化施設への搬入について
建設発生土	有・無			
コンクリート塊	有・無			
アスファルト・コンクリート塊	有・無			
木くず	有・無			
建設汚泥	有・無			
取り壊し建物	有・無			

リサイクル計画書（詳細設計）

業務成果として設計業務の受注者が作成し、報告書に添付する。

1. 設計概要

発注機関名		委託名	
履行場所		工事着手予定時期	
設計概要等			

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内 利用可能量	③ 再生材 利用可能量	④ 新材利用 可能量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	地山m3	地山m3	地山m3	地山m3	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	

※ 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内 利用可能量	⑧ 他工事への 搬出可能量	⑨ 再資源化施設 への搬出可能量	⑩ 最終処分量	⑪ 再資源化率等 (⑦+⑧+⑨)/⑥×100	備考
建設発生土	第1種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
	第2種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
	第3種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
	第4種建設発生土	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
	泥土（浚渫土）	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
	合計	地山m3	地山m3	地山m3	—	地山m3	%
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	—	%	
建設発生木材	m3	m3	m3	m3	—	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	—	%	
取り壊し建物	件	—	—	—	—	—	

※ 建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする。）

①第1種建設発生土 … 砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土 … 砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土 … 通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

④第4種建設発生土 … 粘性土及びこれらに準ずるもの。（第3種建設発生土を除く）

⑤泥土（浚渫土） … 浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。

※ 建設発生木材の中には、伐開・除根材及び剪定材を含む。

※ 利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※ 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

リサイクル計画書（概略設計・予備設計）

業務成果として設計業務の受注者が作成し、報告書に添付する。

1. 事業（工事）概要

発注機関名	土木部 技術情報室	事業（工事）名	事業
事業（工事）施工場所	長崎県 長崎市 江戸町 地内	事業（工事）着手予定時期	平成15年10月
事業（工事）概要等	道路工、法面保護工		

2. 建設資材利用計画

建設資材	使用の有無	再生材の利用について	備考
砕石	有・無	砕石については、すべて再生材を使用する。	基礎砕石に使用。
アスファルト混合物	有・無	舗装工には再生アスファルトを使用する。	舗装工に使用。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	発生の有無	現場内での再利用について	他工事での流用について	再資源化施設への搬入について
建設発生土	有・無	道路工の切土による発生土については、現場内で道路工の盛土及び擁壁裏の埋め戻しにすべて利用する。	発生土については自工区内ですべて利用するため、他工事での流用はない。	なし。
コンクリート塊	有・無	既設擁壁の取り壊しによって発生するコンクリート塊については、30cm以下に破碎して盛土材として利用する。	なし。	なし。
アスファルト・コンクリート塊	有・無	現場内での再利用は考慮していない。	なし。	道路舗装工の破碎によって発生するコンクリート・アスファルト塊については、すべて再資源化施設へ搬出し処理する。
木くず	有・無	工事現場の伐採によって発生する木くずについては、現場内でチップ処理を行い、法面吹付工の材料として利用する。	法面吹付工材料の余剰分については、隣接する工事の吹付材料として利用する。	なし。
建設汚泥	有・無	現場内での再利用は考慮していない。	なし。	現場で発生する建設汚泥については、すべて再資源化施設へ搬出する。
取り壊し建物	有・無			